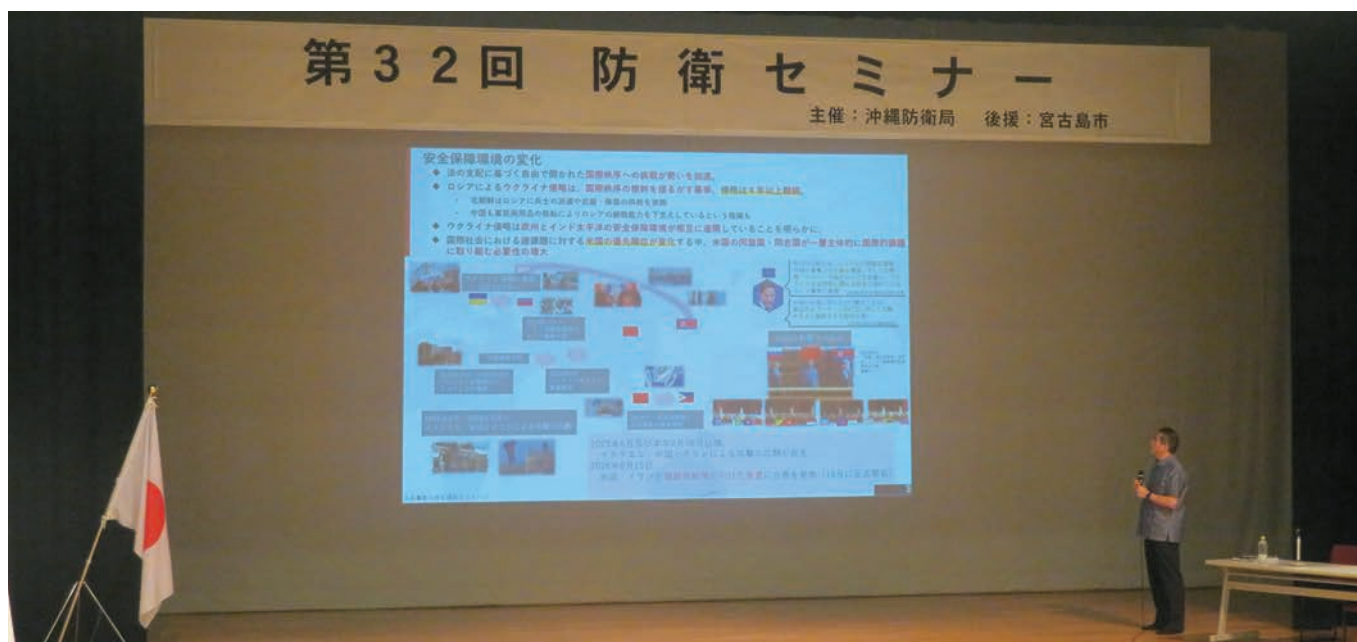


第32回 防衛セミナー



第1部講演の様子



質疑応答の様子

令和8(2026)年7月19日(日)、宮古島市未来創造センターにて、第32回防衛セミナーを開催しました。

今回は、我が国を取り巻く安全保障環境と国民保護をテーマとし、防衛省防衛政策局川上防衛政策課長、内閣官房岩崎参事官、宮古島市役所防災危機管理課真栄田危機管理監より講演いただきました。

質疑応答の時間には多くのご質問をいただき、各講師から丁寧に説明いただくことで、講演内容に関してご来場の皆さまの理解が深まったものと考えております。

本セミナーの開催結果概要は当局ホームページにて掲載していますので、ぜひご覧ください。

当局では、防衛政策や自衛隊の活動等について、国民の皆様に広くご理解をいただけるよう、今後も防衛セミナーを開催してまいります。

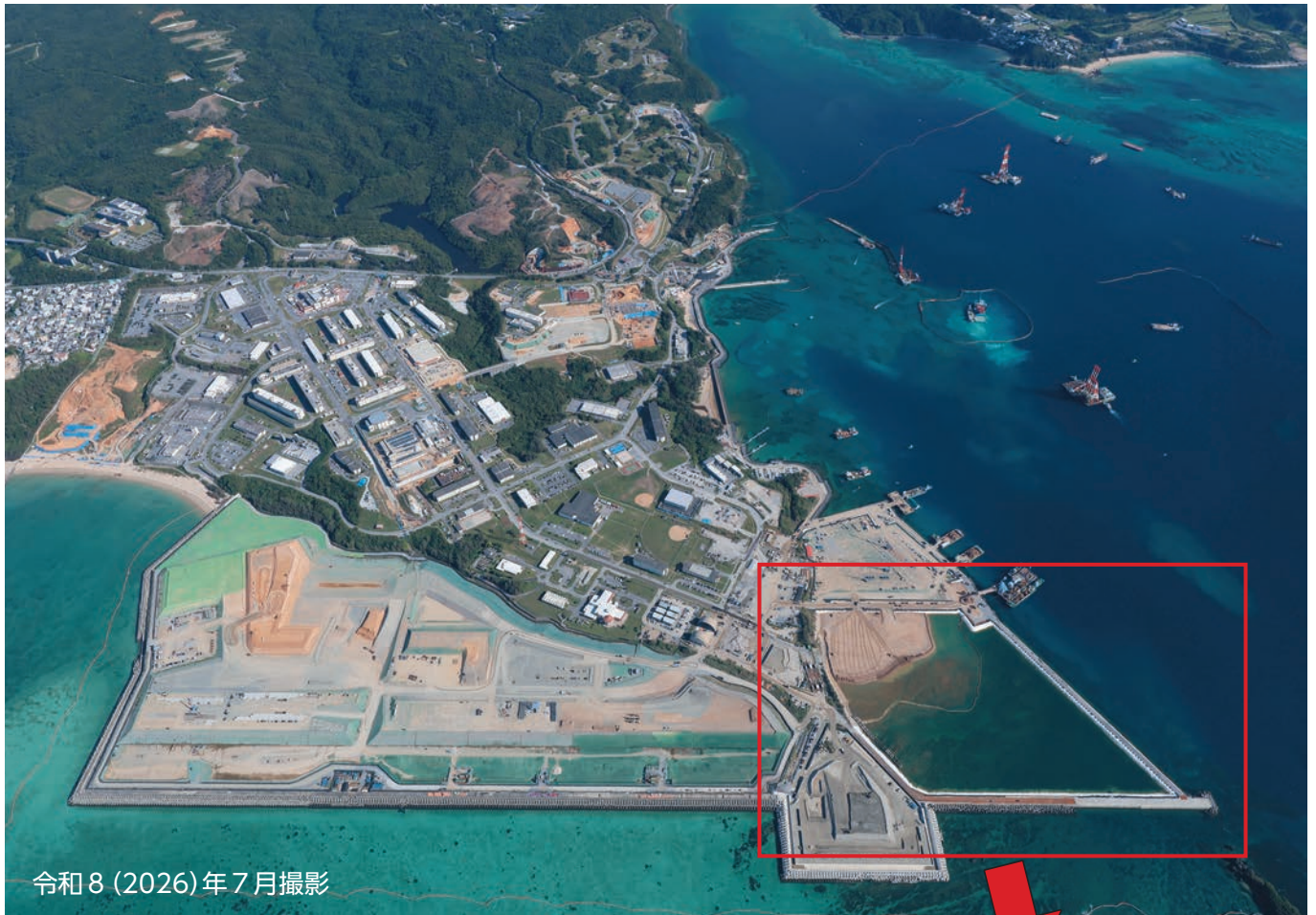
目次

CONTENTS

■ 第32回防衛セミナー	1
■ 普天間飛行場代替施設建設事業について	2
■ 令和8(2026)年度特別優秀工事等顕彰式	3
■ 陸上自衛隊与那国駐屯地の東側用地取得に伴う 町有地の賃貸借契約について	4
■ 在沖米海兵隊の新規着任者研修について	4
■ 在沖米海兵隊司令官交代式への参加について	5
■ 名護第一学校給食センター開所記念式典	6
■ 幹部紹介	7
■ 嘉手納町民謡まつり	8

■ 第34回嘉手納ハーリーで力漕	8
■ 辺野古区ハーレー大会	8
■ 豊原区アブシバレー・ハーレー大会	8
■ 北谷ニライハーリー	9
■ 宜野湾はごろもハーリー大会	9
■ 小型無人機等飛行禁止法関係	10
■ 石綿健康被害救済制度	11
■ 職員のワークライフバランス(総務部編)	11
■ 日米交流合同コンサート	12

普天間飛行場代替施設建設事業について



令和8（2026）年7月撮影



埋立区域③－4 埋立工事の様子



キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業について、辺野古側においては平成29（2017）年11月から護岸工事に、平成30（2018）年12月には埋立工事にそれぞれ着手し、埋立工事がおおむね完了しています。

また、令和5（2023）年12月に変更承認申請の承認を得たことから、地盤改良工事や埋立工事をはじめとする大浦湾側の工事を進めています。令和8（2026）年6月には埋立区域③－4の埋立工事に着手いたしました。

引き続き、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現し、そして、基地負担の軽減を図るため、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境にも十分配慮しながら、移設に向けた工事を着実に進めてまいります。

令和8(2026)年度 特別優秀工事等顕彰式について

◎特別優秀工事

件 名	受 注 者
ハンセン(R2)隊舎(4009)新設建築工事	安藤・間・仲程土建 JV
ハンセン(R2)隊舎(4010)新設建築工事	飛鳥建設・太名嘉組 JV
ハンセン(R2)隊舎(4011)新設建築工事	大成建設・北勝建設・太田建設 JV
ハンセン(R3)隊舎(4009)構内外線整備工事	三協電気工事・玉城電気設備 JV
ハンセン(R4)隊舎(4009)等新設土木工事	東開発・當真組 JV
トリイ(R4)倉庫(1005)新設土木工事	東亜建設工業・大寛組 JV
シュワブ(R5)K-5 護岸新設等工事	安藤・間・丸政工務店・北勝建設 JV

○優秀工事

件 名	受 注 者
陸自宮古島(5)火薬庫新設土木その他工事	五洋建設・先嶋建設 JV
嘉手納(4)給油施設(521)新設機械工事	株式会社東海テック
嘉手納(4)保安施設(1314)新設機械工事	尚平工業株式会社
トリイ(R4)整備施設(1008)等新設機械工事	オカノ・おきさん JV
北部(4)倉庫(0628)新設機械その他工事	株式会社タマキ
ハンセン(R3)立体駐車場(4014)新設機械工事	三栄工業株式会社
トリイ(R4)ユーティリティ(1024)整備設備工事(その1)	日本電設・八千代・光電気 JV
トリイ(R4)整備施設(1008)等新設電気その他工事	株式会社奥原電設
シュワブ(R4)隊舎造成追加工事	國場組・大寛組・丸政工務店 JV
シュワブ(R5)N-1護岸等新設工事	太名嘉組・丸孝組 JV
シュワブ(R5)N-2護岸等新設工事	株式会社北勝建設
シュワブ(R5)伐採等工事(その3)	仲程土建株式会社
シュワブ(R5)仮設道路工事(1工区)	飛鳥建設・太名嘉組 JV
嘉手納(4)保安施設(1314)新設土木工事(その1)	西松建設・屋部土建 JV
トリイ(R4)保管施設(1006)新設土木工事	佐平建設・古波蔵組 JV
トリイ(R4)整備施設(1008)新設土木工事	熊谷組・ガイアート・共和産業 JV
瑞慶覧(R4)家族住宅新設造成等工事(その1)	仲本工業・真栄工業 JV
瑞慶覧(R4)家族住宅新設造成等工事(その3)	屋部土建・光南建設 JV
瑞慶覧(R5)雨水排水路改修整備土木工事	南成建設・T.N.O JV
瑞慶覧(R5)雨水排水路改修整備土木工事(その2)	屋部土建・丸内 JV
トリイ(R4)ユーティリティ(1024)整備建築工事	株式会社福地組
シュワブ(R6)運動施設整備工事	有限会社仲正組

○優秀業務

件 名	受 注 者
陸自那覇(6)法面整備土木設計	日本工営株式会社 沖縄支店
シュワブ(R4)サンゴ類モニタリング等業務	エコー・沖縄環境保全研究所 JV
シュワブ(R6)ジュゴン監視等業務	いであ株式会社 沖縄支社
嘉手納(4)給油施設(521)新設設備工事監理業務	株式会社産研設計 沖縄事務所
沖縄防衛局(R6)土木積算等技术支援業務	アジア技研・大日本ダイヤコンサルタント JV
瑞慶覧外(5)消防署(0203)等新設建築設計	泉創建エンジニアリング・国吉設計 JV
ハンセン(R2)隊舎(4009)等建築工事監理業務	株式会社泉創建エンジニアリング 沖縄支社
シュワブ(R4)環境保全業務	いであ・沖縄環境保全研究所 JV
シュワブ(R5)磁気探査業務	大和探査技術・沖縄計測・沖縄磁探総業 JV

防衛省では、地方防衛局等が発注する建設工事及び業務のうち、全国の工事の中でも施工状況等が特に優れているなど、他の模範とするにふさわしいものについて、特別優秀工事等として大臣官房施設監が顕彰する制度を平成29(2017)年に創設しました。今年度においては、全国で16件の受賞対象工事の中で沖縄防衛局の工事が7件選定されました。

また、沖縄防衛局の工事及び業務の中で、目的物の出来形又は品質が優れていたり、発注者や要求機関のニーズを的確に反映するなど、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事・業務として顕彰しており、令和7(2025)年度に完成・完了した事案の中から、22件の工事及び9件の業務並びにその技術者を選定しました。

本顕彰制度は、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事及び業務目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的としており、顕彰された実績は、総合評価方式等における企業の施工能力や技術者の能力の評価項目において加点することとしています。

受賞者の皆様は防衛施設整備におけるかけがえのないパートナーであり、これからも共に防衛施設整備に取り組んでまいります。



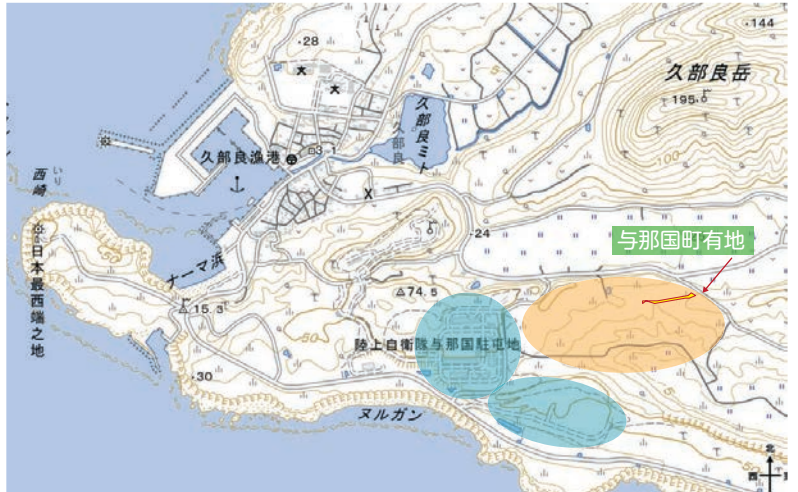
陸上自衛隊与那国駐屯地の東側用地取得に伴う
町有地の賃貸借契約について

南西地域における防衛体制強化の一環として陸上自衛隊与那国駐屯地に中距離地对空誘導弾部隊を配備することとしており、これに伴い駐屯地東側の用地取得を進めております。同部隊の配備にあたっては、令和5年（2023年）5月、令和8年（2026年）3月に住民説明会を開催するなど、地元の皆様に対し丁寧に御説明してきたところです。

こうした中、令和8年（2026年）8月14日、与那国町と沖縄防衛局との間で、土地の使用に関する賃貸借契約を締結しました。

引き続き、与那国町と地元住民の皆様方に対する丁寧な御説明と適切な情報提供に努めながら、南西地域における防衛体制強化の取組を着実に進めていきたいと考えています。

陸上自衛隊与那国駐屯地東側における
中距離地对空誘導弾部隊配備予定地



国土地理院地図を加工して作成

凡 例

 与那国駐屯地

 東側用地

与那国駐屯地

● 東側用地

在沖米海兵隊の新規着任者研修について

令和8（2026）年8月5日、沖縄防衛局は、キャンプフォスターで開催された在沖米海兵隊新規着任者研修を視察しました。この研修は沖縄に新たに着任する全ての米軍関係者に義務付けられているものです。

今回視察したのは、沖縄の歴史や文化、米軍の駐留を取り巻く環境について理解の促進を目的とした「沖縄オリエンテーション概要」でしたが、その際使用した資料は、本年５月に在日米軍沖縄事務所と沖縄県が共同で開催した「第２回沖縄コミュニティ・パートナーシップ・フォーラム」において日本側が提示した改訂案を踏まえたものでした。

特に、飲酒運転防止の記述については、多くの飲酒運転が翌朝に発生してる状況を踏まえ、自分では大丈夫だと思っけていても体内にはアルコールが残っている場合があることを説明した上で、飲酒運転の危険性や処罰の例示、地元のタクシー及び運転代行サービスの活用について細かく説明する等、以前のものと比べ大幅に更新されたものです。

今回の視察をとおりて、米側が沖縄の実態に即した教育を適切に行っていることを確認することができました。

なお、米側では、今回視察した研修だけではなく、日頃から各軍・各部隊それぞれにおいて隊員教育を実施しているとのこと。

沖縄防衛局としては、米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正について更なる努力を求めていくとともに、引き続き、日米間で協力して事件・事故防止に全力で取り組んでまいります。



新規着任者研修の様子

在沖米海兵隊司令官交代式への参加について

令和8（2026）年6月から8月にかけて、在沖米海兵隊各基地において司令官交代式が行われました。

今夏で、米海兵隊第3海兵遠征軍司令官ターナー中將、米海兵隊太平洋基地司令官ウルフォード少將、キャンプ・ハンセン司令官マヨラル大佐の計3名が離任し、新たにワトソン中將、リゾ准將、パターソン大佐の3名の新司令官が着任しました。

沖縄防衛局からは、離任する各司令官に対して、在任期間中、日米安全保障体制の維持・強化のための日ごろの様々な措置を講じるとともに、沖縄における米軍基地に係る課題等の解決に向けた取組に対する感謝と敬意を表し、感謝状を贈呈しました。

また、新司令官に対しては、着任を祝福するとともに、前司令官との間で築き上げてきた強固な日米関係をさらに発展させることで一致しました。

各司令官交代式の様子



米海兵隊第3海兵遠征軍司令官交代式の様子



米海兵隊太平洋基地司令官交代式の様子



キャンプ・ハンセン司令官交代式の様子

名護第一学校給食センター開所記念式典

令和8年（2026）8月17日、名護第一学校給食センター開所記念式典が行われ、渡具知市長をはじめとする関係者の方々が出席し施設の完成を祝いました。

本施設は、安全で安心な学校給食を提供するため、老朽化していた市内三か所の学校給食センターを集約し、防衛施設周辺整備助成事業として当局がお手伝いさせていただいたものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが重要であるとの認識の下、各種施策の実施に取り組んでまいります。



テープカットの様子



施設外観



調理室



洗浄室

名護市教育委員会教育長 島袋 賢雄



本施設は、防衛省の防衛施設周辺整備助成事業の補助を受け、これまで長年にわたって子どもたちの成長を支え続けた羽地、名護、名護第2学校給食センターの3つの調理場を統合して建設されました。

高度な衛生管理を実現し、最新の厨房機器導入により、効率的に安全でおいしい給食の提供が可能となっており、令和8（2026）年8月25日より幼稚園1園、小学校8校、中学校8校の合計で約3,800食の給食の提供を開始されました。

学校給食は子どもたちが健やかに成長し、学びを深める上で欠かすことができない大切な教育活動の一つであります。この学校給食センターを拠点に、安全で栄養バランスの取れた美味しい給食を提供するとともに、食に関する学びを通して、子どもたちが望ましい食習慣を身につけ、豊かな心と健やかな体を育むことができるよう、全力で取り組んでまいります。

名護市長 渡具知 武豊



このたび令和8（2026）年8月25日より「名護第一学校給食センター」が供用開始しました。

本施設は、防衛省の防衛施設周辺整備助成事業の補助を受け建設され、子どもたちへ安全・安心な学校給食を提供し、また、生きる力を育むための食育の推進を図るなど、非常に重要な役割を担う施設となっております。

建設に際し、多大なご理解とご協力を賜った防衛省をはじめ、関係機関や工事関係者、これまで本施設の建設に関わってこられた全ての皆様へ深く感謝を申し上げます。

今回の「名護第一学校給食センター」の整備を契機に、名護市の教育環境がさらに充実し、子どもたちが健やかで逞しく成長することを心より願っております。



幹部紹介



沖縄防衛局次長
かみたに やすはる
上谷 康晴

8月7日付で沖縄防衛局次長を拝命しました上谷です。昨年8月より調達部長として、関係自治体や地域の皆様方のお考えをお聞きしながら、関連する企業の皆様とともに円滑な防衛施設整備に努めてまいりました。今後も、防衛省の政策や自衛隊・在日米軍の活動等に更なるご理解とご協力が得られるよう、新たな立場で職員とともに防衛施設に関する諸課題に取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



調達部長
みぞぐち せいじ
溝口 征治

8月7日付で調達部長を拝命しました溝口です。調達部では、沖縄県内にある自衛隊や米軍施設に関わる整備などの仕事を担当しています。こうした仕事を進めていくためには、地域の皆様のご理解とご協力をいただくことが大切です。また、施設整備に携わっていただく企業の皆様との連携も欠かせません。

沖縄防衛局での勤務は2年ぶり3度目となりますが、これまでの経験も生かしながら、地域の皆様や企業の皆様とのつながりを大切に、施設整備に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



管理部長
こだま たつや
児玉 達哉

8月1日付で管理部長を拝命しました児玉です。平成4（1992）年4月に当時の防衛施設庁に入庁し、以降、沖縄と東京（防衛施設庁・防衛省）を行き来しながら様々な業務に携わってなかで、沖縄での生活は20年を超えました。私にとって沖縄は第二の故郷です。管理部は、在日米軍や自衛隊が使用する防衛施設の取得、管理、米軍の諸活動で生じる損失の補償、返還地の支障除去、米軍人等による事件・事故の対応等を行っており、防衛施設の安定的な使用の基盤とも言える大変重要な役割を担っています。自身のこれまでの経験を活かしながら、地元の皆様のご意見をしっかり受け止め、様々な課題の解決に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



名護防衛事務所長
かいもり けん
貝守 健

8月1日付で名護防衛事務所長を拝命した貝守です。前職は沖縄防衛局調達部次長として普天間飛行場代替施設建設事業の建設工事に携わってきました。これから地元の皆さまと交流できることを嬉しく思います。これまで名護防衛事務所が築いてきた北部地域の皆さまとの関係を維持し、北部地域における基地行政を円滑に行えるよう、地元の皆さまのお考えをしっかりと聞きするとともに地域に密着した対応を心がけ、北部地域における様々な課題の解決のために取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



企画部次長
まえだ やすひろ
前田 康宏

8月7日付で企画部次長を拝命しました前田です。昨年度までの2年間、労務管理官として基地従業員の労務管理等業務に携わって参りました。沖縄防衛局での勤務は3年目となります。沖縄には多くの在日米軍施設が存在しており、在日米軍の運用により生じる様々な問題等、多くの課題がありますが、地元の皆様や在日米軍としっかりと意思疎通・情報共有を行いながら、これら諸課題に取り組んでまいります。また、引き続き、県内各地に足を運んで沖縄の自然、歴史や文化に触れていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



調達部次長
まつなみ だいじろう
松並 大二郎

8月1日付で調達部次長を拝命しました松並です。沖縄防衛局での勤務は7年ぶり2度目になります。前回の勤務時は支障除去の担当として返還地を素早く片付けることで地域に貢献することを目標としておりましたが、今回は防衛施設の整備という“ものづくり”を担う部署での勤務となりますので、前とは違った観点から地域のために何ができるか思案しつつ、職務に取り組んでまいりたいと考えております。

嘉手納町民謡まつり

令和8（2026）年5月17日に嘉手納町の第7回町民歌謡まつりがかでな文化センターで盛大に開催されました。

多くの地元の歌手が参加するなか、当局から下企画部長が代表して出演し、あまい美声を響かせながら、会場を穏やかな雰囲気に包みこんでいました。



下企画部長が出演



出演者によるフィナーレ

第34回 嘉手納ハーリーで力漕

令和8（2026）年6月21日に嘉手納漁港で第34回嘉手納ハーリー大会が開催されました。

今年は当局から5チームが参加し、開会式では当局から前田企画部次長が選手宣誓の大役を任されました。

当局の所在する嘉手納町の地域の皆様と交流しながら、伝統あるハーリーの魅力を体感する貴重な機会となりました。



力漕する調達部チーム



前田企画部次長が選手宣誓



出漕前の総務部チーム

辺野古区ハーレー大会

令和8（2026）年5月24日、辺野古松田又浜で「辺野古区ハーレー大会」が開催され、当局からは沖縄防衛局・外務省沖縄担当大使混合チーム及び名護防衛事務所・調達部混合チームが参加しました。

この辺野古区ハーレー大会は五穀豊穡と海上安全を祈願するアブシバレー行事の一環で、区民の皆様にとって大切な行事です。

職域レースで各チーム競い合う中、地元の皆様から温かいご声援を頂きながら海を駆けつけた時間は、地域全体が一体となったように感じられた貴重なひと時でした。



防衛局2チーム集合写真

豊原区アブシバレー・ハーレー大会

令和8（2026）年7月19日、快晴の下、豊原クンジダー浜で「豊原区アブシバレー・ハーレー大会」が開催され、沖縄防衛局・外務省沖縄担当大使混合チームとして参加しました。

当日は天気にも恵まれ、参加チームの漕ぎ手の掛け声、応援に駆け付けた多くの観客の声援により、大会は大いに盛り上がりました。

レース後には豊原区から温かい豚汁とおにぎりが振る舞われ、競走後の疲れた体に、優しく染み渡り、お腹も心も満たされました。

豊原区民の皆様にとって大切な行事に参加することができ、親睦を深める良い機会となりました。



沖縄防衛局、外務省沖縄担当大使混合チーム

北谷ニライハーリー

令和8（2026）年6月21日、晴天の下、北谷町浜川漁港において「第18回北谷ニライハーリー」が開催され、企画部・管理部の合同チーム（16名）が参加しました。地元選出の宮崎衆議院議員（防衛副大臣）が開会式で祝辞を述べられたあと、参加チームの漕ぎ手の掛け声、応援に駆け付けた多くの観客の声援により、大会はスタートしました。宮崎議員らの声援を受け、抜けるような青空の下、爽快に海を駆けましたが、結果は振るわないものとなりました。参加した職員からは、「ハーリーを楽しむことができました。来年もチャレンジしたい。」との声があがっていました。



宜野湾はごろもハーリー大会

令和8（2026）年7月5日、晴天の下、宜野湾港マリーナにおいて「宜野湾はごろもハーリー大会2026」が開催され、企画部・管理部の合同チーム（15名）が参加しました。大会2日前には、地元の経験者から、漕ぎ姿勢のほか、スタート時と波に乗った後のサバニの漕ぎ方を教わり準備万端？で臨みましたが、当日は、緊張のせいか練習の成果を発揮できない成績となりました。選手全員で力を合わせてサバニを漕ぎ、チームワークの大切さを再確認した有意義なひと時でした。是非とも今年の屈辱を果たすべく来年もチャレンジしたいと思います。



小型無人機等飛行禁止法関係

小型無人機等飛行禁止法が令和8(2026)年7月14日付で改正されました。

○小型無人機等飛行禁止法改正の背景

小型無人機は、法制定当時（平成28(2016)年）と比較して、飛行速度等の性能が飛躍的に向上するとともに、社会に広く普及しており、小型無人機を悪用した重大事案の発生が懸念される中、重要施設に対する危険の未然防止に万全を期する必要があることから法改正が検討されるに至りました。

○具体的な改正内容

①イエローゾーン（飛行禁止エリア）の拡大

対象施設の周辺地域として指定される地域（いわゆる「イエローゾーン」）の範囲が、対象施設の周囲「おおむね300メートルの地域」から「**おおむね1,000メートルの地域**」に拡大されました。



②罰則の創設

これまで、イエローゾーンで小型無人機等を飛行させた場合、警察官等による小型無人機等の飛行の中止等の命令に従わない場合にはじめて罰則が適用されていた（間接罰）ところ、**イエローゾーンの上空で小型無人機等の飛行を行った者に対する罰則（直罰）が創設**されました。

（創設された法定刑：6月以下の拘禁刑又は50万円以下の罰金）

（法改正により、間接罰と直罰が併存）

③対象施設の追加

国内要人が出席する行事会場等を、警察庁長官が必要な期間を定めて対象特別要人所在施設として指定することが可能となりました。

また、同様に外国要人が参加する国際会議の準備又は運営のために使用される会議場施設その他の施設を、外務大臣が必要な期間を定めて対象外国公館等として指定することが可能となりました。

④対象施設の安全の確保のための措置に関する規定の整備

対象施設に対する危険を未然に防止するために警察官がとることができる措置に、対象施設の管理者その他関係者に対し必要な措置をとることを命ずることが含まれることが明確化されました。

対象防衛関係施設においては、引き続き、それぞれ以下の表に掲げる小型無人機等の飛行を行うことが可能です。

場 所	可 能 な 飛 行
対象防衛関係施設の敷地又は区域の上空（レッド・ゾーン）	・ 対象防衛関係施設の管理者の同意を得た者が行う小型無人機等の飛行
対象防衛関係施設の敷地又は区域の周囲おおむね1000メートルの地域の上空（イエロー・ゾーン）	・ 対象防衛関係施設の管理者の同意を得た者が行う小型無人機等の飛行 ・ 土地の所有者若しくは占有者（正当な権原を有する者に限る。）又はその同意を得た者が行う小型無人機等の飛行 ・ 国又は地方公共団体の業務を実施するために行う小型無人機等の飛行

○ 在沖米軍の対象防衛関係施設において、小型無人機等の飛行を行う場合の問い合わせ及び手続については、下記の連絡先にお問い合わせください。

沖縄防衛局 企画部 連絡調整課 小型無人機等担当係

【TEL】098-921-8181（内線214・161）【e-mail】odb-drone-ok@ext.okinawa.rdb.mod.go.jp

沖縄防衛局ホームページ：<https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/procedure/drone/>

※ 自衛隊施設周辺での小型無人機等の飛行に関しては、各自衛隊施設までお問い合わせください。

○ 詳細については、防衛省ホームページにも掲載しておりますのでご活用ください。

防衛省ホームページ：<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



石綿健康被害救済制度

沖縄の米軍関連施設で石綿（アスベスト）にさらされる仕事をしていた方とご家族・ご遺族のみなさまに大切なお知らせです。

沖縄米軍関連施設での工作中に石綿にさらされたことにより次のような疾病にかかった場合、労災保険制度または石綿健康被害救済制度に基づく補償または救済を受けられる可能性があります。

対象となる疾病：中皮腫、石綿肺、石綿起因性肺がん、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚

	労災保険給付	特別遺族給付金	救済給付
支給対象者	①沖縄復帰後に米軍関連施設で働いていたことが原因で石綿による疾病を発症した方（本人） ②上記の遺族の方	①令和8年3月26日までに亡くなった労働者の遺族の方 （注）労災保険の遺族補償給付を受ける権利が時効（5年）によって消滅された場合に限られます。 ②労働者が亡くなった時期により、支給対象となる給付が異なります。	①石綿による健康被害（中皮腫、肺がん、著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚）を受けた方（本人） ②上記の遺族の方 （注）労災保険給付・特別遺族給付金の対象とならない場合のみ
給付内容	①本人 ・療養補償給付 ・休業補償給付 ②遺族の方 ・遺族補償給付 など	特別遺族給付金を支給 1年あたり240万円の年金または1,200万円の一時金（遺族が1人の場合。遺族の人数によって年金の支給額は異なります。）	①本人 ・医療費（自己負担分） ・療養手当（1ヵ月あたり約10万円） ②遺族の方 ・特別遺族弔慰金 など
請求期限	給付内容により異なります。 ※遺族補償給付の請求権は、ご本人が亡くなった日の翌日から5年で時効により消滅します。時効による消滅後は、特別遺族給付金の対象となります。	令和14年3月27日	給付の種類、対象疾病、死亡時期により異なります。

詳しくはお近くの労働基準監督署
または労働局にご相談ください

那覇監督署 TEL098-868-8040 沖縄監督署 TEL098-916-6335
名護監督署 TEL0980-52-2691 宮古監督署 TEL0980-72-2303
八重山監督署 TEL0980-82-2344 沖縄労働局労働基準部労災補償課 TEL098-868-3559

労災保険給付・特別遺族給付金の対象とならないことが確認できている方は、独立行政法人環境再生保全機構（TEL 0120-389-931）またはお近くの保健所に救済給付についてご相談ください。



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

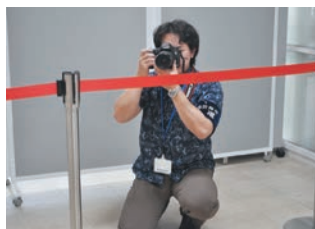
石綿を扱う仕事や症状などの情報は、厚生労働省ホームページの「アスベスト（石綿）情報」をご覧ください。

- ※ 沖縄の米軍関連施設で石綿にさらされる仕事をしていた方については、一般財団法人 沖縄駐留軍離職者対策センター（TEL 098-923-0151）においてもご相談を受け付けております。
- ※ 本土復帰後に沖縄の米軍関連施設で石綿にさらされる仕事をしていた方については、沖縄防衛局（TEL 098-921-8215）又は独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構沖縄支部（TEL 098-921-5534）においてもご相談を受け付けております。

職員のワークライフバランス（総務部編）



私は、採用3年目で契約課に所属しており、主に自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設の建設工事等に係る契約業務を担当しております。個々の業務が我が国の防衛を支える整備に繋がっていることを認識し、適正かつ円滑に契約業務を進めるため、日々業務に取り組んでおります。プライベートでは、家族との時間を大切にしています。休日は家族で出かけたり、趣味の筋力トレーニングやバスケットボールを楽しんだりしています。仕事とプライベートのメリハリを大切にしています。



私は、採用5年目で報道室に所属しており、主に報道対応、広報誌の作成、HPやSNS等による情報発信などの業務を行っております。

沖縄防衛局の「窓口」として、防衛省の取り組みや地域とのつながりを、より多くの方々に知っていただけるよう、日々努力しております。プライベートでは、趣味の運動で汗を流したり温泉で心身を癒すなど、ワークライフバランスを充実させています。

JAPAN-U.S. JOINT CONCERT 2026

令和8年度 日米交流合同 コンサート

出演者 Performers

那覇市立古蔵中学校
Kokura Junior High School

沖縄市立沖縄東中学校
Okinawa Higashi Junior High School

嘉手納町立嘉手納中学校
Kadena Junior High School

米海兵隊第3海兵遠征軍音楽隊
III Marine Expeditionary Force Band

航空自衛隊南西航空音楽隊
Southwestern Air Defense Force Band

陸上自衛隊第15音楽隊
Japan Ground Self-Defense Force 15th Band

リュウキュウミドルスクール
Ryukyu Middle School

2026/ **10/17** Sat.
OPEN 12:00 START 13:00

沖縄サントリーアリーナ

沖縄県沖縄市山内1丁目16-1
OKINAWA SUNTORY ARENA
1-16-1 Yamauchi, Okinawa City, Okinawa

入場無料・全席自由 チケット不要
FREE Admission・Open Seating
No Ticket Required



Official Website

お問い合わせ 沖縄防衛局企画部地方協力確保課 ☎ 098-921-8131 (受付時間 9:30~17:00土日祝日を除く)
主催 防衛省沖縄防衛局 Hosted by Okinawa Defense Bureau, Ministry of Defense
後援 沖縄市 Supported by Okinawa City